

報告事項(3-1)令和3年度高齢者あんしんセンターの事業評価について

【目的】

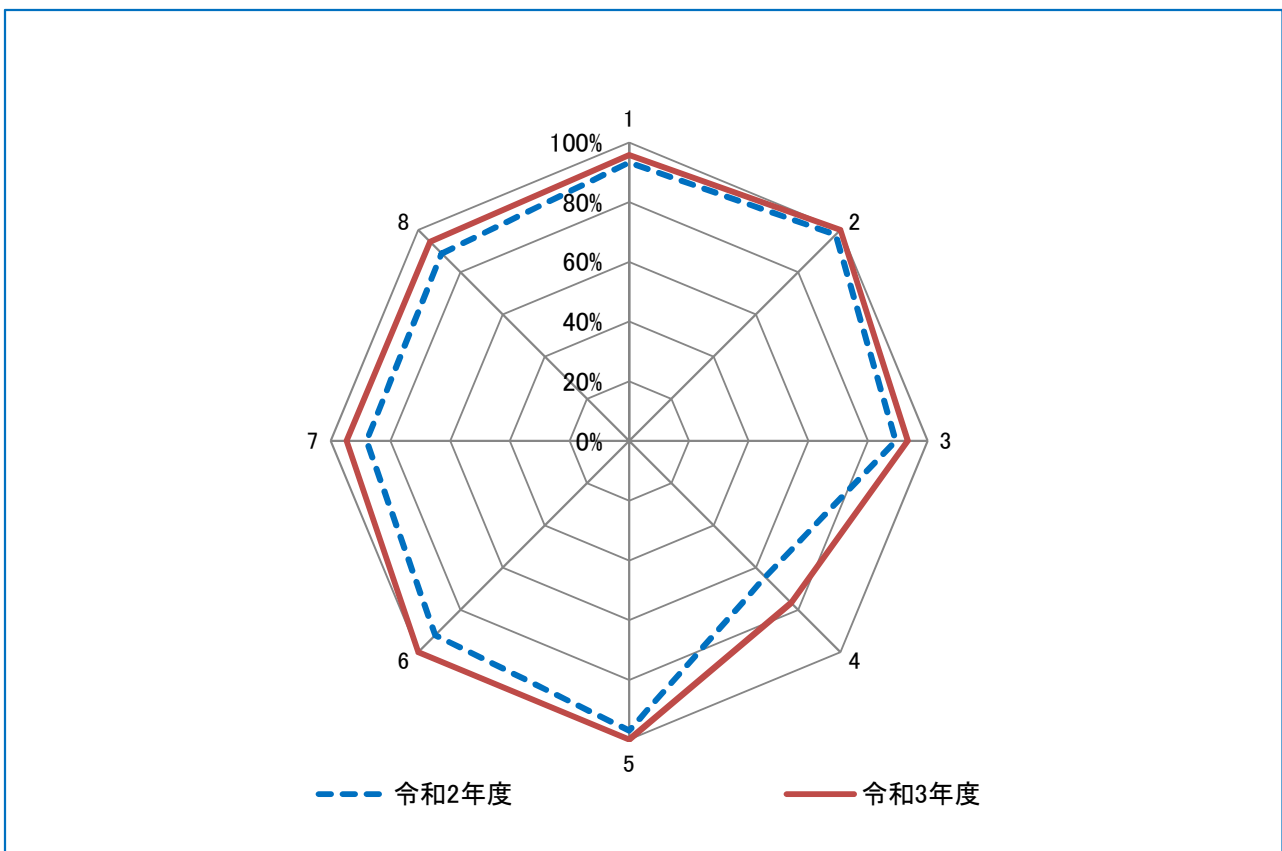
地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的としている。地域包括支援センターが地域において求められる機能を十分発揮するために、人員体制及び業務の状況を定期的に把握・評価し、その結果を踏まえてセンターの設置者及び市町村が事業の質の向上のための必要な改善を図っていくことが重要であり、全ての市町村及びセンターで取り組み状況を評価することにより、地域包括ケアシステムの深化に向けた取り組みを加速させるものである。

【各高齢者あんしんセンターの取り組み状況（各センター平均）】

	項目	令和2年度	令和3年度
1	1 組織運営体制等	93.3%	95.8%
2	2-(1) 総合相談支援	97.8%	100.0%
3	2-(2) 権利擁護	89.3%	93.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	64.4%	76.7%
5	2-(4) 地域ケア会議	97.0%	100.0%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	92.0%	100.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	88.0%	94.7%
	平均	88.8%	94.4%

(令和4年4月末時点)

■レーダーチャート（経年比較）



出典元：厚生労働省老健局振興課「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について(通知)別添資料」より

【まとめ】

令和3年度高齢者あんしんセンターの事業評価結果をみると、全体的に昨年度より向上が見られる。

項目別では、「事業間連携」、「地域ケア会議」で特にポイントの上昇が見られる。高齢者虐待や8050問題等、複雑な課題を抱えたケースが増加しているが、地域ケア会議（随時会議）を開催し、コロナ禍であっても、多職種と連携し支援が必要なケースをとりこぼさないよう、関係機関との連携のもと対応にあたっている。

全体の中で評価が低い項目は「包括的・継続的ケアマネジメント」であるが、昨年度と比較するとポイントの上昇が見られる。引き続きケアプラン作成を通じたケアマネジメント指導を中心とした介護支援専門員への指導・助言や、地域ケア会議（随時会議）等の開催による介護支援専門員のニーズや課題に基づく検討に取り組んでいく必要がある。

今後も引き続き、センター間の連携強化を図りながら、医療介護の連携の充実や地域の関係機関とのさらなる連携強化に取り組み、高齢者が安心して暮らし続けられる社会の実現をめざしていきたい。